

第 3 回

(社)熊本県建設業協会 上益城支部

労働災害防止安全大会



主催者挨拶・坂本支部長



場内風景



安全標語表彰式



安全宣言



献血ボランティア活動

平成18年9月12日(火)支部会員・来賓など約600人が出席し御船町カルチャーセンターにおいて安全大会を実施し、経営者と従業員の安全意識の高揚と労働災害ゼロを誓いあった。

冒頭、物故者に対して黙祷の後、坂本支部長が「安全管理は従業員より経営者が重く受け止める問題であり、しかし従業員も作業能率のみを優先し安全を怠らないこと。会社は利益の追求、発注者は品質重視、従業員は安全の3拍子全てが揃って今後も労働災害防止に努めてもらいたい」と支部会員の努力を促した。

続いて熊本県上益城地域振興局の緒方清樹土木部長が「6月21日から29日の災害時、大規模災害支援活動を行ってもらい感謝する。災害時の人命救助や大型機械を使用し支援活動に協力する建設業者は地元にとって必要だ。災害防止に努め、熊本県の発展に協力を願う」と来賓挨拶。

その後、KYT研修や安全講話、記念講演などが行われた。浄見寺の大西教哲住職が「人生はリレーである」と題して講演、参加者は真剣に視聴した。同時進行として、参加者による献血ボランティアも実施した。

安 全 宣 言

私達は、安全な職場づくりを推進するため、今一度安全活動の重要性を再確認し、『危険をみつけて進める改善 高めよう職場の安全管理』の理念に基づき、この理念の向上を目指すために、次の事項を目標とします。

1. 作業員一人ひとりが安全に対する認識を高める。
1. 作業に潜む危険の芽を摘み取り、安全な職場をつくる。
1. 事業場の全員が作業内容を十分に把握し、不安全行動を行わない。
1. 安全活動の活性化を図る。
1. 危険再確認教育を実施する。

以上、全会員が一丸となり労働災害撲滅を期することをここに宣言します。

平成18年9月12日

代 表 吉川建設有限会社
代表取締役 吉川正勝